

みんなが集い、創り 伝える 感動の飯田ひろば



新しい飯田文化会館の整備に関する基本構想

(骨子案)

第1章 策定に当たって（趣旨、考え方）

第2章 基本構想

1 上位計画との関係

- ・飯田市の計画の整理、国、長野県の文化振興政策等

2 飯田市の文化環境の現状分析等

- ・市内の文化ホール等施設の整備状況

3 新しい文化会館（文化芸術施設）の基本理念と基本方針

※これまでの整備検討委員会や市民ワークショップの意見を反映

4 事業の考え方

- ・飯田らしい文化事業…交流事業、鑑賞事業、創造事業、継承・普及事業、育成事業等

※今回の意見やこれまでの整備検討委員会や市民ワークショップの意見を反映

5 管理運営の考え方

- ・「みんなが集い、創り 伝える 感動の飯田ひろば」を実現できる管理運営

6 施設整備の考え方（施設整備の基本方針、施設機能の整理等）

※前回と今回の意見を反映

7 その他新しい文化会館整備のための検討

- ・スケジュール、課題等

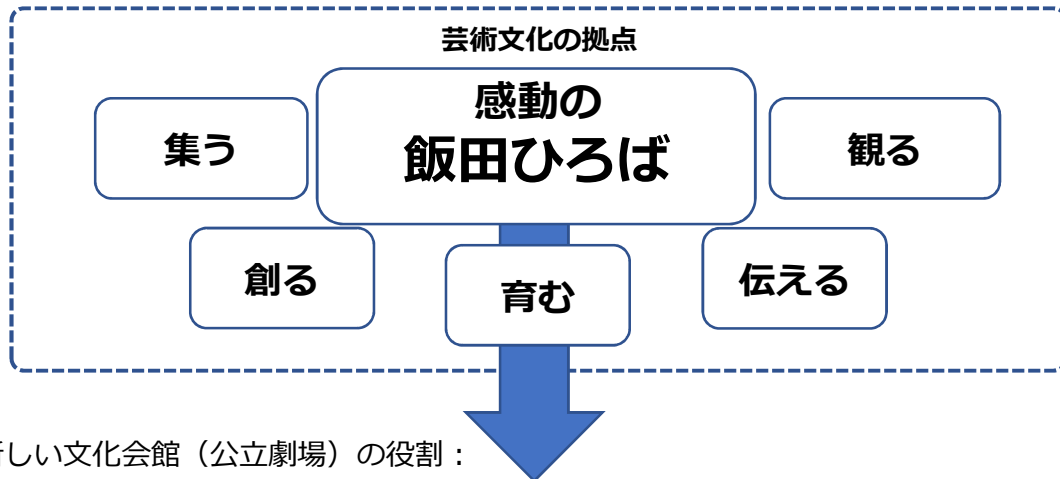
資料

- ・用語解説
- ・新文化会館整備検討委員会委員（名簿）
- ・新しい文化会館の整備に関する基本構想ができるまで（ニュースレター等の資料）

3 新しい文化会館（芸術文化施設）の基本理念と基本方針

新文化会館整備検討委員会や市民ワークショップで話し合われた内容から、基本理念を定めました。

基本理念：みんなが集い、創り 伝える 感動の飯田ひろば



新しい文化会館（公立劇場）の役割：

「ひと」を育み 「まち」を育み 「活力」を生み出す

「飯田らしい文化施設（新しい文化会館）の5つの基本方針」

基本理念を実現するため、飯田らしいオンリーワンの芸術文化の拠点施設を目指すための基本方針を示します。

- ①集う 飯田・下伊那の南信州圏域を主対象とし、誰もが集うことができる芸術文化施設を目指します。★大切にするキーワード：人が集まる場（たまり場）、寄り合いの場、出会いの場、つながる場、幅広い世代の声が聞こえる場、日常的な居場所、多様性を認める場、周辺との結びつき、ローカル（地域）とリージョナル（広域）の視野
- ②観る 市民が優れた芸術文化に触れ、心が満たされる鑑賞の機会を提供します。多様な分野の質が高い芸術文化の公演を実施します。★大切にするキーワード：本物に触れられる場、感動する場、心を満たす場、感性を磨く場、非日常（ハレの場）
- ③創る 地域の人たちが集まって創り出す拠点施設として、飯田の新しい芸術文化を創造し、発信します。★大切にするキーワード：文化を創造する拠点、練習の場、発表の場、感動を与える場、体験の場、みんなで作る場、市民が使う、シン・文化会館
- ④伝える 自分たちの創り上げた文化を人々に発表・発信することや芸術文化を介してのコミュニケーションを行います。また、伝統芸能の伝承やこれまでの文化活動を継承するとともに、積極的な情報発信をします。★大切にするキーワード：吸収し継承し発展させる力、学びの場（体験の場）、文化を享受する場、発信する場
- ⑤育む 芸術文化活動の実演者や支える人材を育成するとともに、将来の芸術文化活動の担い手が育つ環境を整えます。さらに「まち」を育む施設となることを目指します。★大切にするキーワード：人を育てる場、文化を育む、楽しむ場（ワクワク感）、「みる、演じる、支える（豊かな心を育む）」、自主活動・自立的な活動、みんなで作る文化